

# 令和8年度当初予算 概要

令和8年2月  
港湾空港局

## 1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	10,501	11,423	▲ 922
特別会計	6,877	6,445	432
港湾整備 特別会計	6,301	5,744	557
土地取得 特別会計	-	126	▲ 126
空港関連用地 整備特別会計	5	3	2
臨海部産業用地 貸付特別会計	466	469	▲ 3
市民太陽光 発電所特別会計	105	103	2
合計	17,378	17,868	▲ 490

※一般会計については、職員給与費を除く。

## 2 主要施策

### 「稼げるまち」の実現

- ・ 港湾では、長期構想と港湾計画に基づき、機能強化と利用促進、2024年問題対応、港湾施設マネジメントの推進、風力発電関連産業の総合拠点化に取り組む
- ・ 空港では、滑走路延長を起爆剤とした物流拠点化に向けた機能強化、路線誘致や集貨・集客等の利用促進、アクセス強化等に加え、開港20周年記念を含めたイベント実施により快適で機能的な空間の構築を行う

### 「彩りあるまち」の実現

- ・ 国内外からの多くの観光客や市民等が訪れ、楽しめるよう、港湾の魅力向上と賑わいづくりに取り組む

### 「安らぐまち」の実現

- ・ 市民の安全・安心を守るため、港の防災・減災対策と港湾施設の老朽化対策に取り組む

## 1 北九州港

### (1) 北九州港の機能強化

アジアの「物流拠点」を目指し、港湾施設整備による機能の強化や、老朽化した施設の機能維持・向上に取り組み、稼げる基盤をつくる。

#### 《主な事業》

- ・ **新規**: 新門司地区ROROターミナル整備事業 【667百万円】
- ・ **新規**: 太刀浦第1コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業 【31百万円】
- ・ 太刀浦地区施設整備調査検討事業 【64百万円】



【新門司地区ROROターミナルのイメージ】



【太刀浦コンテナクレーン】

### (2) 北九州港の利用促進

北九州港の航路維持・拡大及び集貨拡大を目的として、新たな航路・貨物やフェリー・RORO航路の新規利用に対する補助を行う。

#### 《主な事業》

- ・ 港湾利用促進支援事業 【47百万円】
- ・ 海上モーダルシフト促進事業 【5百万円】



【フェリー・RORO船】

### (3) 港湾施設マネジメントの推進

港湾施設の集約・利用転換、民間活力の導入による施設の再配置を行うことを目的として、必要となる現地測量や利用者調整等を行う。

#### 《主な事業》

- ・ 港湾施設マネジメント推進事業 【114百万円】

#### (4) 風力発電関連産業の総合拠点形成（洋上風力の産業ハブ展開集積プロジェクト）

風力発電関連産業の総合拠点を形成するため、企業誘致活動や普及・啓発活動を実施するとともに、洋上風力O&Mの地元企業新規参入および既存企業の事業領域拡大のための支援を行う。

また、浮体式洋上風力発電の総合拠点化を目指し、基礎構造物を保管する水域の整備方針の検討を行う。

##### 《主な事業》

- ・洋上風力関連産業用地整備事業 【286百万円】
- ・浮体式拠点形成事業 【9百万円】
- ・響灘洋上風力発電拠点化推進事業 【7百万円】
- ・洋上風力O&M競争力強化事業 【5百万円】



【基地港湾に着岸するSEP船と洋上風車部材】



【北九州響灘洋上ウインドファーム】

#### (5) カーボンニュートラルポート(CNP)の形成

「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、港湾における脱炭素化の取組みを推進するため、港湾脱炭素化推進計画の更新や臨海部水素拠点形成の検討を行う。

##### 《主な事業》

- ・カーボンニュートラルポート(CNP)推進事業 【11百万円】

#### (6) みなとの賑わいの創出

関係局や下関市と連携し、関門エリアの周遊性向上等に取り組むことで、みなとの賑わいを創出する。

また、国内外のクルーズ船を北九州港に呼び込み、乗船客を市内観光地等に誘導することで、市内経済の活性化を促進する。

##### 《主な事業》

- ・**新規**:「みなと」と「子ども」の  
未来づくり連携事業 【5百万円】
- ・クルーズ船誘致・受入事業 【51百万円】



【クルーズ船】

#### (7) 防災・減災対策

高潮災害から立地企業を守ることを目的として、防潮堤の整備(新門司北地区)を行う。

##### 《主な事業》

- ・海岸(高潮)事業 【9百万円】



【防潮堤整備のイメージ】

## 2 北九州空港

### (1) 旅客・アクセス

世界へと広がる空のネットワーク構築に向け、新規航空路線(チャーター便含む)の誘致や台北線の再開等を強力に推し進めるため、運航支援や空港施設使用への支援、集客・PR活動、ハンドリング人材の確保等の取組みを実施する。

また、空港アクセス利便性の確保を目的に、朽網駅特急ルートの定着・利用促進や増便したエアポートバスの運行支援等の取組みを実施する。

#### 《主な事業》

##### 【旅 客】

- ・新規航空路線支援事業 【188百万円】
- ・空港受入体制強化事業 【11百万円】

##### 【アクセス】

- ・空港アクセス強化事業 【99百万円】



【国内外の旅客定期便】



【朽網駅特急ルート】

### (2) 貨物

滑走路3,000m化を控え、グローバルに拡大する物流拠点空港を目指し、新規路線の誘致や運航支援、集貨促進等を実施する。

また、活発な投資が進む半導体関連貨物の重点的な集貨促進等に取り組む。

#### 《主な事業》

- ・北九州空港整備事業  
地元負担金 【899百万円】
- ・航空物流支援事業 【588百万円】
- ・次世代航空物流構築事業 【105百万円】



【国内外の貨物定期便】

### (3) 魅力向上

開港20周年を機に、世界へと広がる空のネットワーク構築を推進するため、空港を市民の暮らしやまちの彩り・魅力を引き出す“エンタメスポット”として位置づけ、市内の観光スポットやイベントと連携した取組みを実施し、空港の魅力向上に取り組む。

#### 《主な事業》

- ・**新規**：北九州空港20周年記念市民還元事業 【2百万円】
- ・北九州空港魅力向上事業 【30百万円】



【魅力向上・賑わいづくり(イベント等)】



### 3 主な事業

#### 「稼げるまち」の実現

##### ●稼げる「基盤」をつくる

##### 北九州港

新規	・新門司地区ROROターミナル整備事業(特会)	663百万円
	フェリー・RORO貨物の輸送需要の増加に対応するため、新門司南地区において、新たなROROターミナルの整備を実施	
新規	・水道管等更新事業	200百万円
	老朽化した水道管の更新を計画的に実施	
新規	・港湾保安施設整備事業	37百万円
	北九州港の港湾施設におけるテロ等の危害行為の発生防止を図るため、SOLASフェンス等必要となる設備の計画的な補修工事を実施	
新規	・太刀浦第1コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業(特会)	31百万円
	荷役作業の効率化と港湾機能の強化を図るため、太刀浦第1コンテナターミナルのコンテナクレーン更新を実施	
新規	・新門司地区ROROターミナル道路整備事業	4百万円
	フェリー・RORO貨物の輸送需要の増加に対応するため、新門司南地区において、新たなROROターミナルへのアクセス道路整備を実施	
拡充	・響灘東地区処分場整備事業	2,000百万円
	長期にわたる安定的な廃棄物処分場の確保や航路・泊地の浚渫土砂の処分場を確保するため、響灘東地区において、新処分場の整備を実施	
拡充	・港湾施設健全化対策事業	352百万円
	老朽化及び機能低下が見られる港湾施設について、定期点検結果や利用状況等を踏まえ、緊急度の高い施設から改修を実施	
拡充	・港湾施設マネジメント推進事業(特会)	62百万円
	老朽化が深刻な港湾施設の集約・利用転換、民間活力の導入による施設の再配置を行うことを目的として、施設再編の検討に必要な現地測量や利用者調整等を実施	
拡充	・港湾施設消防設備等更新事業	14百万円
	公共上屋等に設置されている老朽化した消防設備の取替等の更新を実施	
	・太刀浦地区施設整備調査検討事業	64百万円
	北九州港東部地区における新たな土砂処分場整備の事業着手前の行政手続きに必要な調査や設計等を実施	
	・港湾施設マネジメント推進事業	52百万円
	維持管理費の抑制及び民間投資による収入増加を図ることを目的として、将来の利用が見込まれない土地について、測量後、民間への売却及び貸付を実施	

- ・港湾利用促進支援事業(特会) 47百万円  
北九州港に寄港する船社の航路及び集貨の拡大を目的として、新たな航路・貨物に対する補助を実施
- ・カーボンニュートラルポート(CNP)推進事業 11百万円  
市が掲げる「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、国際物流の結節点かつ産業の拠点となる港湾における脱炭素化の取組みを推進
- ・海上モーダルシフト促進事業 5百万円  
2024年問題を契機とした、陸上輸送から海上輸送への転換を図るため、フェリー・RORO航路を初めて利用する事業者への補助を実施

## 北九州空港

- 新規** ・北九州空港20周年記念市民還元事業 2百万円  
2026年3月16日の開港20周年を記念し、これまでの利用に感謝するとともに、今後の更なる利用促進を目的とした北九州ー羽田線の割引キャンペーンを実施
- 拡充** ・航空物流支援事業(県・町連携) 543百万円  
九州・西中国の物流拠点空港を目指し、新規路線の誘致や集貨促進、貨物取扱機能の構築等を目的に、運航支援や集貨促進、通関体制の構築、GSE車両(貨物搭降載車両)の更新等の取組みを実施
- 拡充** ・新規航空路線支援事業(県・町連携) 188百万円  
新規航空路線(チャーター便含む)の誘致や運休路線の再開、就航路線の安定化を目的に、着陸料・ハンドリング・空港施設使用への支援や集客・PR等の利用促進のための取組みを実施
- 拡充** ・次世代航空物流構築事業(県・町連携) 105百万円  
九州・西中国の物流拠点空港を目指し、活発な投資が進む半導体関連貨物の重点的な集貨や国内貨物便の集貨促進等の取組みを実施
- 拡充** ・航空物流支援事業(苅田町連携) 45百万円  
九州・西中国の物流拠点空港を目指し、集貨ルートの確立や貨物取扱機能の構築等を目的に、トラック経費の支援や物流事業者の進出支援等の取組みを実施
- ・北九州空港整備事業地元負担金 899百万円  
九州・西中国の物流拠点空港を目指し、国が進める滑走路3,000m化等の機能強化を着実に推進
- ・空港アクセス強化事業 99百万円  
市西部方面の基幹ルートとしての朽網駅特急ルートの定着・利用促進や、空港アクセスの更なる利便性向上を図るため、鉄道・バス・タクシーの運行支援やPR活動等の取組みを実施
- ・北九州空港魅力向上事業 30百万円  
開港20周年を迎え、旅客ターミナルにおける快適で機能的な空間の構築や、空港を市民の暮らしやまちの彩り・魅力を引き出す”エンタメスポット”として位置づけ、その付加価値を最大化するため、観光スポットやイベントと連携した取組みを実施
- ・空港受入体制強化事業 11百万円  
地上支援業務従事者不足の解消を目的に、新規雇用促進支援(居住支援)や働きやすい環境整備の取組みを実施

## ●稼げる「産業」をつくる

### 北九州港

・洋上風力関連産業用地整備事業 286百万円

響灘東地区への洋上風力関連企業の進出促進に向け、公共インフラ整備や整地等を実施

・浮体式拠点形成事業 9百万円

響灘西地区の浮体式洋上風力発電の総合拠点化を目指し、浮体式基礎構造物を保管する水域の整備方針の検討を実施

・響灘洋上風力発電拠点化推進事業 7百万円

風力発電関連産業の総合拠点化を目的として、響灘東地区産業用地への企業誘致活動や風力発電の普及・啓発活動を実施

・洋上風力O&M競争力強化事業 5百万円

響灘地区を中心に地元企業の新規参入及び既存O&M企業における事業領域の拡大を促進するため、O&M訓練施設等を活用した研修や資格取得を行う者に対して補助を実施

## 「彩りあるまち」の実現

## ●彩りある「時」をつくる

### 北九州港

新規 ・「みなと」と「子ども」の未来づくり連携事業 5百万円

関係局や下関市と連携を図り、関門エリアの周遊性向上や滞在時間を延ばす夜の船舶を活かしたイベントの実施や、海事人材不足の解消に向けた多様なイベント等を実施

・クルーズ船誘致・受入事業 51百万円

国内外のクルーズ船会社等に北九州港への寄港を働きかけ、安全安心な受入れを実施するとともに、乗船客を市内観光地等に誘導することにより、賑わいの創出と市内経済の活性化を促進

・北九州港・みなとまちづくり事業 6百万円

北九州港の魅力を伝え、海事人材の発掘につながるイベントを実施する他、SNSや北九州港マスコットキャラクター「スナQ」による、北九州港の魅力発信を実施

・みなとオアシス推進事業 5百万円

「みなと」を核としたまちづくりを推進するとともに、市民ニーズの高い大型帆船を招聘することで、港の賑わいを推進

## 「安らぐまち」の実現

## ●生活基盤の「安心」を支える

### 北九州港

新規 ・小型船係留施設対策事業 62百万円

不法係留対策等のため、老朽化等で使用を停止している小型船係留施設の調査、補修を行い、プレジャーボート等小型船の係留場所を確保

・海岸(高潮)事業 9百万円

新門司北地区において、高潮災害から背後の立地企業を守るため、防潮堤の整備を実施

【問合せ先】  
港湾空港局 総務課  
日比野（課長）、宮浦（係長）  
TEL 093-321-5916